

対ホンジュラス共和国 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	地方活性化施策を中核とした持続的な社会経済開発への支援
---------------	-----------------------------

重点分野 1 (中目標)	地方開発													
開発課題 1-1 (小目標) 社会経済基盤強化 地域経済振興プログラム	【現状と課題】 貧困問題を緩和し開発を促進するための課題として、基礎的インフラの未整備、脆弱な生産基盤、限定的な生計手段等が挙げられる。また都市部への人口流入に伴う貧困問題の都市部への拡大を踏まえ、都市部・農村部双方での安定した社会経済開発が必要。全国的な横断課題として、質の高い雇用の創出や物流促進のためのインフラ開発に加え、都市部では、外国投資の誘致や今後の同国の成長を支える若年層の人材育成、農村部では地域の産業育成、中小零細企業の生産力向上が挙げられ、右への支援が必要とされる。				【開発課題への対応方針】 ・低所得者層の生計向上や地場産業の推進 ・中小零細企業の振興 ・安定した物流の確保のための主要道路等の基盤整備 ・農村部の生計手段の多様化 上記方針を通じ、持続可能な開発目標 1（貧困）、8（経済成長と雇用）等の達成に貢献する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度				
		地域の特性を考慮し、低所得者層の生計向上や地場産の推進、中小零細企業の振興に貢献する。	地域に根差した金融包摂推進を通じた貧困削減プロジェクト	技プロ							4.05	1,8,10		
			持続的な経済開発・地域統合のための中米地域物流ロジスティックス開発マスタープラン策定支援プロジェクト	開発計画								7.04	8	SICA地域協力案件 支援額は対象国の合計額
			中小企業の品質・生産性向上支援に係るファシリテーター育成	第三国専門家									8	
			一村一品運動広域アドバイザー	個別専門家									8	広域案件
			社会経済開発人材育成のためのホンジュラス国立自治大学修士課程強化プロジェクト	技プロ								2.93	4,17	
			中南米・カリブ次世代知日派リーダー育成プログラム(2018年度)	国別研修									4,17	
			コパン遺跡博物館展示機材整備計画	一般文化								0.94	4	
			SICA地域協力アドバイザー	個別専門家									1,17	SICA地域協力案件
	SICA農業・農村開発アドバイザー		個別専門家									1,15	SICA地域協力案件	
	住民参加型の地方行政(2020年度)		国別研修									1,10		
	SDGs・ホンジュラス国家アジェンダ2030に資する地方自治体事業実施・モニタリング体制整備及び能力向上プロジェクト		技プロ								3.16	1~17		

			ラ・モスキティアにおけるミスキート族の生計手段改善プロジェクト	マルチ								2.72百万USD	1,2,14,15	世界銀行日本社会開発基金(JSDF)	
			持続的・地域開発に関する課題別研修	課題別研修他									1		
開発課題 1-2 (小目標) 質の高い社会サービスの普及 社会サービス強化プログラム	【現状と課題】 貧困層の底上げには、保健医療、教育、水資源等多様なセクターにわたる社会サービスが必要であり、右基礎的サービスへのアクセスについては、特に農村部における改善が求められるとともに、都市部の急速な人口増加に伴うサービスの拡大など、各地域のニーズと合致した質の高い社会サービスの普及が必要。また右公的サービスの実施を担い、サービスの質を管理する地方自治体の能力強化も同時に求められる。さらに地域の経済活性化のボトルネックとなる治安問題を改善するための、行政による暴力と犯罪の防止のための取り組みも全国的課題となっている。				【開発課題への対応方針】 ・教育・保健・水等の基礎的サービスの普及と充実 ・地方行政の実施能力強化 ・防犯体制の普及を通じた治安改善 上記方針を通じ、持続可能な開発目標3（保健）、4（教育）、5（ジェンダー）、6（水・衛生）等の達成に貢献する。										
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
					2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度					
	【プログラム・アプローチにより、一層戦略的に推進する協カプログラム】														
		包摂的な開発を実現するために、行政側への計画策定能力の強化を通じたサービスの充実と、教育・保健をはじめとする基礎的サービスについて、貧困層への直接的な支援を進める。		コマヤグア市給水システム改善・拡張計画	無償								17.28	6,11	
				テグシガルパ上水事業に係る情報収集・確認調査【有償勘定技術支援】	基礎情報収集(有償)									6,11	
				水分野に関する課題別研修	課題別研修他									6	
				SICAジェンダー政策策定・実施モニタリング・評価能力体制強化アドバイザー	個別専門家									5	SICA地域協力案件
				地域住民の参加を通じた地域警察活動促進支援	個別専門家									11,16	
				治安対策・司法に関する課題別研修	課題別研修他									16	
			保健サービスネットワーク(RISS)を通じた保健サービスデリバリー強化プロジェクト	技プロ								5.65	3		
			保健サーベイランス国立研究所建設計画	無償								8.18	3		
			保健医療サービス改善に関する課題別研修	課題別研修他									3		
			医療・保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.89	3,11		

		障害者支援分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.06	3,11	
		中米保健大臣会合 (COMISCA) に対する COVID-19 対策支援	マルチ								0.33百万USD	3	米州開発銀行日本特別基金 (JSF)
		新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款	有償								110.11	8,10	
		栄養改善・生計向上に向けた家庭菜園普及プロジェクト	日本NGO								0.34	1,2,15	
		サン・ルカス市、サン・アントニオ・デ・フローレス市における妊産婦ケア強化事業	日本NGO								0.32	3,11	
		SDGsグローバルリーダー(2020年度)	国別研修									17	
		SDGsグローバルリーダー(2021年度)	国別研修									17	
		基礎教育に関する課題別研修	課題別研修他									4	
		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.62	4	

重点分野 2 (中目標) 防災及び環境・気候変動対策

【現状と課題】
ハリケーンや地震など自然災害リスクの高い当国では、気候変動に伴い災害に強いインフラの整備が益々重要になっている他、災害時の行政および住民の対応能力の強化が不可欠。予防防災や減災の考えの一層普及、災害への脆弱性改善が引き続き課題であり、ハード・ソフトの両面で災害に強い社会づくりが求められている。

【開発課題への対応方針】
・災害に強い社会をつくるための計画・インフラ整備
上記方針を通じ、持続可能な開発目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション) や開発目標 11 (気候変動や災害への備え) の達成に貢献する。

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度			

開発課題 2-1 (小目標)	自然災害対策	【プログラム・アプローチにより、一層戦略的に推進する協カプログラム】														
		協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	支援額 (億円)	SDGs	備考		
災害に強い社会づくりプログラム		【プログラム・アプローチにより、一層戦略的に推進する協カプログラム】														
			自然災害による被害の軽減・緩和を目指し、人口が集中する首都圏の防災能力(洪水や地すべりなど)を強化すると共に、コミュニティ防災の強化を図る。また、河川や道路・橋りょう、その他の公共インフラに係る危機管理能力の向上、並びに災害に強い社会基盤の整備を支援する。	首都圏斜面災害対策管理プロジェクト	技プロ								3.29	11, 13		
				ホンジュラス国斜面災害検知装置に係る普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業								1.00	9, 11, 13		
				バジェ・デ・スーラ都市圏洪水対策マスタープランプロジェクト	開発計画								未定	2, 11, 13		
				国道六号線地すべり防止計画	無償								9.58	9, 11, 13		
				防災に関する課題別研修	課題別研修他									11		
				経済社会開発計画	無償								5.00	11, 13	ハリケーン災害復興関連機材供与	

			国道一号线橋梁架け替え計画(詳細設計)	詳細設計							0.02		
			国道一号线橋梁架け替え計画(本体)	無償							23.98	9, 11	
			経済社会開発計画	無償							3.00	2, 13, 15	農業関連機材供与

【現状と課題】
 ハリケーンや地震など自然災害リスクの高い当国では、気候変動に伴い災害に強いインフラの整備が益々重要になっている。他、災害時の行政および住民の対応能力の強化が不可欠。予防防災や減災の考えの一層普及、災害への脆弱性改善が引き続き課題であり、ハード・ソフトの両面で災害に強い社会づくりが求められている。

【開発課題への対応方針】
 ・災害に強い社会をつくるための計画・インフラ整備
 上記方針を通じ、持続可能な開発目標9（インフラ、産業化、イノベーション）や開発目標11（気候変動や災害への備え）の達成に貢献する。

開発課題 2-2 (小目標) 環境保全・気候変動リスク	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度				
気候変動リスクの緩和プログラム		環境に配慮しつつ、水力や太陽光をはじめとする再生可能エネルギー利用の推進、同エネルギー導入による温室効果ガス排出削減のための支援を行う。また、生物多様性の喪失リスクの減少を目指し、その保護や管理にあたる機関の能力強化などを行う。	カニャペラル及びリオ・リンド水力発電増強事業	有償							160.00	7,9,11		
			SICA地域における生物多様性の統合的管理と保全に関する能力強化プロジェクト	技プロ							4.88	15	SICA地域協力案件支援額は対象国の合計額	
			統合固形廃棄物管理のための自治体連携管理モデル確立プロジェクト	技プロ							未定	11, 12, 14		
			気候変動対策に関する課題別研修	課題別研修他								13		
			環境保全分野のJICA海外協力隊	JOCV								13		
			経済社会開発計画	無償							4.50	9, 13, 15	干ばつ対策関連機材供与	
			乾燥回廊における移住防止及び帰還移民の再統合のための食料安全保障に向けた生計の強靱性向上計画(WFP連携)	無償							4.31	1,2,8,13,15,17		
			ホンジュラスのアトランティダ、コロン、北部オランチョの湿润森林の低利用樹種の持続可能な管理の促進	マルチ							0.22	12,13,15	農林水産省国際熱帯木材機関(ITTO)拠出事業	

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実証・実証・ビジネス化事業」、「実証」「——」（＝実施期間）、「破線「----」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf